

## Techミーティング

鹿児島大学の研究者と対話できる「場」を定期的で開催し、産学連携のきっかけをつくることで企業の抱える技術的な課題解決をサポートし、**新しいビジネスの創出**を目指します。

《第1回》

日時

2022年6月16日(木) 14:00~15:30

場所

mark MEIZAN 2F  
ユーティリティスタジオ(鹿児島市名山町9-15)

募集対象

産学連携に興味のある事業者



定員  
10名  
参加費無料!

発表テーマ

デザインを通して豊かで新しい生活・空間を創出する

## 研究シーズの概要

当研究室では、どの様なモノに美しさを感じ、モノの形態がヒトとコトをどうやってうまく結びつけているのか。美的感覚の原理や、ヒトとモノとの関係性を解明するための研究を進めながら、実践的なデザイン活動にも取り組んでいます。デザインが新たな価値を創造し、地域のまちづくりや素材・材料・商品の活性化などへとつながるように、これまでの研究や実践活動で得られた知見を活かした企画アイデア、デザイン提案などで課題解決に寄与してまいります。



PROFILE

鹿児島大学 学術研究院理工学域工学専攻  
建築学プログラム 准教授

柴田 晃宏氏

兵庫県生まれ。東京工業大学大学院修士課程修了。株式会社デザインシステムを経て、一級建築士事務所ikmo設立。法政大学や桑沢デザイン研究所で非常勤講師を勤め2010年東京工業大学大学院博士後期課程修了(博士(工学))。小山工業高等専門学校建築学科 准教授の後に2013年より鹿児島大学大学院理工学研究科 建築学専攻 准教授。

## 研究内容

デザインシグニファイアに関する研究(造形論)	▶▶▶▶	[内容] ヒトとコトをうまく結びつけるのはどのような形態か。
デザインプロセスに関する研究(設計論)	▶▶▶▶	[内容] 人はどの様なプロセスで形態を創造するのか。
視覚的快適性に関する研究(美学認知論)	▶▶▶▶	[内容] 人はどの様なものに美しさを感じるのか。
VRを用いた空間認識に関する研究	▶▶▶▶	[内容] 人はVR空間と実空間をどの様に感じ取っているのか。

## 企業の取組に対して協力できる主な事項

- デザインによる素材・材料・商品の利用活性化、Reブランディング
- アートイベントやインスタレーションなど空間演出提案
- 建築、インテリア家具、プロダクト、パッケージなど立体デザイン全般
- デザイン教育、クリエイティブ思考教育

## シーズ活用に期待が持てる企業

住宅・家具・照明・玩具などのメーカー企業、その他立体パッケージを利用されている商品を持つ企業、自治体

キーワード ▶ デザイン/インテリア/家具/プロダクト/パッケージ/アートイベント/知育玩具



## 申込締切 2022年6月9日(木)

以下に、必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailでお申し込みください。

FAX ▶ 099-223-0852  
「かごしまTechミーティング」運営事務局（株式会社 鹿児島銀行地域支援部地域開発室内）

E-mail ▶ [kaihatsu@ml.kagin.co.jp](mailto:kaihatsu@ml.kagin.co.jp)

申込締切 ▶ 6月9日(木)締切(先着)

## ご参加お申し込み事項

貴社名	▶	貴社名：	／主たる業種：
本社所在地	▶	<input type="checkbox"/> 鹿児島市内 <input type="checkbox"/> 鹿児島市外( 市)	
ご参加者①	▶	所属部署： 役職：	氏名：
ご参加者②	▶	所属部署： 役職：	氏名：
ご連絡先	▶	電話番号 E-mail	@
その他	▶	産学連携（共同研究・受託研究など）の実績： <input type="checkbox"/> あり / <input type="checkbox"/> なし 先生への質問・相談したい内容など、ありましたらご記入ください。	

- 本企画は、「鹿児島市新産業創出支援業務」として、鹿児島市から委託を受けた株式会社 鹿児島銀行が運営しています。
- ご記入いただいた個人情報、本企画に関する業務のみ使用します。
- 会場には駐車場がありませんので、お車でお越しの際は、お近くのコインパーキングをご利用ください。
- ご参加の際は、必ずマスクを着用いただくとともに、咳エチケットの励行、会場入室時の検温や手指の消毒等、新型コロナウイルス感染症防止対策へのご理解とご協力を頂けますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。